入院診療計画書（乳房全摘出術を受ける方へ）

ID番号　@PATIENTID　　氏名　@PATIENTNAME 様　　@PATIENTWARD　病棟　@PATIENTROOM　号室

病名（他に考える病名）　　症状

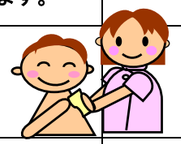
担当医師　@USERNAME　印　　担当看護師　　担当薬剤師　　その他担当者名

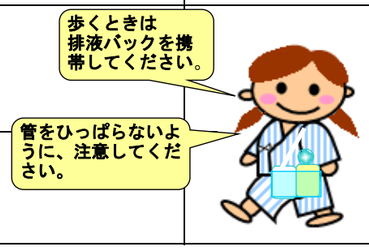
@SYSDATE

月日	月　日	月　日		月　日	月　日～	月　日～
経過	手術前日　入院	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	術後１日目	術後2日目～	術後7日目～ 退院
目標	不安なく手術に臨める。			食事が摂取できる。 歩行できる。	創に問題がない。 自分で着替えができる。	創に問題がない。 退院できる。
検査	□（　　）時から　核医学室で注射と撮影があります。 □入院後～手術前までの間にエコー、手術部位へのマーキングを行います。（手術当日に行う場合もあります）			採血、レントゲンを行います	特にありません。	
処置	□手術後に使用する胸帯とストッキングのサイズを測ります。			医師の診察後、胸帯をとります。（創部の状態で圧迫を継続することがあります。） 午前中に尿の管を抜きます。	創部の確認をします。	排液の量をみて、量が少なくなったら、創部の管を抜きます。通常、創部の管を抜いたら、翌日退院です。
治療		がんばりましょ	手術後は創部に管を挿入し排液します。創部は胸帯で圧迫し、 医師の指示があるまで 酸素吸入をします。痛みや吐き気があるときは 我慢せ	創部に溜まった液を管から排液します。		
観察	体温、脈拍、血圧測定を行います。		体温、脈拍、血圧測定を行います。 創部に挿入された管の排液や創部の状態を確認します。			
注射		点滴はありません。 手術室で点滴を行います。	手術後は、持続点滴を行います。	点滴を抜きます		
内服	普段内服している薬を確認します。 夕食後に下剤を飲みます。希望時は眠剤を飲むことができます。	朝に内服薬がある場合は お知らせします。	医師の許可があれば、痛み止めや胃のお薬、普段飲んでいたお薬を内服できます。	□朝から痛み止めと胃のお薬を飲みます。 □普段飲んでいたお薬は医師の許可があれば内服できます。		
食事	□夕食後～絶食 □（　　）時から絶食	（　　）時～絶食水	□医師の許可がでてから水を飲むことが出来ます。	□朝から 食事がはじまります。		
行動	入院前と同じように、トイレ・洗面、シャワー浴ができます。	朝起きたら「手術に行く前の準備」をして下さい。8時30分頃に看護師と一緒に歩いて手術室に行きます。手術中、家族の方は病棟ラウンジでお待ちください。	ベッドで寝返りをしたり、座ることができます。うがいや歯磨きなどはベッド上で行います。	尿の管を抜いた後は、歩くことができます。お身体を拭きます。	髪の毛を洗ったり、下半身のシャワー浴ができます。 上半身はタオルで拭きます。 リハビリテーションは自分のペースで毎日続けて下さい。	
説明	病棟看護師より手術の説明があります。午後から麻酔科医師と手術室看護師より、手術前の説明があります。		手術後、医師から手術結果をご家族に説明します。	リハビリテーションの説明があります。		看護師より「退院後の生活」「補整下着」「自己検診方法」などについて説明があります。

手術にいく前の準備

□パンツ以外の下着を脱いで、病衣に着替えてください。
□化粧やマニキュアを落としてください。
□血栓予防のストッキングを装着します。
□義歯、眼鏡、時計、ヘアピン、指輪を外してください。
□貴重品や鍵は、ご家族の方に渡してください。





注1）病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。
注2）入院期間については現時点で予想されるものです。
注3）特別な栄養管理の必要性については、電子カルテ等様式の変更が直ちにできない場合、食事の欄に記載してもよい。

特別な栄養管理の必要性
有　・　無

福島県立医科大学附属病院 パス承認番号（No.209-1）　承認月日（平成28年11月2日）

上記内容について説明を受け同意いたしました

署名：　　続柄：

（連絡先）
乳腺外科外来　：024-547-1221
みらい棟4階東病棟：024-547-1629